



クロス・レター

第41号

旭川赤十字病院広報委員会 発行

医薬品による尿や便などの色調変化



一般に薬は体の中で作用したあと、尿や便として排泄されます。
そのため服用する薬によっては尿や便の色が変化することがあります。

色の変化を起こしやすい医薬品として知られているものを一部ご紹介いたします。

1. 尿の色を変える医薬品

尿の色	医薬品
黄色	ビタミン B2 (フラビタン錠など)
黄褐色～赤色	キネダック錠 (エパルレスタット錠)・サラゾピリン錠 アザルフィジン EN 錠・アローゼン配合顆粒 プルゼニド錠 (センノシド錠)
橙黄色	アドナ錠
橙赤色	リファジンカプセル・リフキシマ錠
暗赤色	フラジール錠
琥珀色～黄緑色	オダイン錠
緑～青緑～青色	トリプタノール錠
赤褐色	コムタン錠 (エンタカポン錠)・スタレボ配合錠
黄色・暗橙色・青緑	クリノリル錠
黒色	ネオドパゾール・スタレボ配合錠・アルドメット錠
黄褐色～茶褐色・緑・青	ミノマイシンカプセル・ミノマイシン顆粒
赤色	セフゾンカプセル・セフゾン細粒小児用・アスベリン散 アスベリンシロップ

◆正常な尿の色は一般的に透明な淡黄色から淡黄褐色で、尿量によって濃くなったり薄くなったりします。

2. 便の色を変える医薬品

便の色	医薬品
白色	硫酸バリウム (X線造影時)
黒色	フェロミア錠 (クエン酸第一鉄 Na 錠)・フェルムカプセル インクレミンシロップ・ピートルチュアブル クレメジン細粒 (球形吸着炭細粒)
橙色～赤色	リファジンカプセル
黄色～褐色	アローゼン・プルゼニド錠 (センノシド錠)
赤色	セフゾンカプセル
白いカスや薬の抜け殻 (ゴーストピル)	デパケン R 錠・セレニカ R 顆粒・ペンタサ錠・スローケー錠 オキシコドン錠・ユニフィル LA 錠・コンサータ錠

◆正常な便の色は食べ物によって左右されますが黄褐色となります。

植物性の食品が多ければ黄色に、葉緑素や鉄分を多く含む食品を食べれば緑黒色となります。

3. コンタクトレンズの色を変える医薬品

【内服薬】

リファジンカプセル、サラゾピリン、アザルフィジン EN

◆着色が起こるのはソフトコンタクトレンズです。



【点眼薬】

ザラカム配合点眼液 (ラタチモ配合点眼液)、キサラタン点眼液 0.005%

ザジテン点眼液 0.05%、パタノール点眼液 0.1%、アイラミド配合懸濁性点眼液、エイベリス点眼液 0.002%、タップコム配合点眼液、ルミガン点眼液 0.03% (ビマトプロスト点眼液 0.03%)、リボスチン点眼液 0.025%

◆点眼前に一度コンタクトレンズを外し、点眼後 15 分以上経過してからコンタクトレンズを再装着してください。

尿と便などの色が変化する原因としては、服用した薬剤の色そのものが影響する場合と薬剤が体内で代謝され変化し影響する場合があります。このような変化は一時的なもので、ほとんどの医薬品は服用をやめた時点で正常に戻ります。

このほかにも病気や薬の副作用が原因で尿や便の色が変化する場合もありますので、お気軽に医師または薬剤師にご相談ください。



2021.1

【地域の皆様へ】

当院は地域と連携し救急患者を夜間、休日または深夜を含む 24 時間診療することのできる体制を整えています。担当医師は正面玄関掲示にてご確認下さい。